

キャリア教育 講演例

テーマ「将来、どんな仕事をしたい？」

目的

「将来自分がどんな仕事をするのか、どんな仕事があるのか等」の将来のキャリアを考える一つの機会を設けたい。

概要

過去、人材派遣や人材紹介を行う団体で、求人開拓の営業や、求職者へのキャリアコンサルティング、就職や転職等の支援を行った。現在はキャリアコンサルティングや労務面の支援にも注力している。そこで
の知見を分かりやすく、小学生向けに内容をかみ砕いて伝えたい。

人生 100 年時代。生涯現役で働く方も増えている中、そんな長い社会生活において、長く携わる「仕事」を何にするか。「天職」を考えるきっかけの授業にもしたい。

授業内容の各小テーマや流れ

- ・知っている職業を発表（事前に、登下校中にどんな職業に携わる人がいたか、発見した職業を発表）
- ・職業の一覧例を紹介
- ・小学生の将来なりたい職業ランキング例を紹介
- ・各々の実際なりたい職業の発表 と その理由
- ・その理由の深堀り 過去の経験との連動を考える
- ・目標とする職業を選定する（目標の明確化）
- ・ほか学校で勉強をする目的について・・・知識の土台と進路の幅を広げる等
- ・ランキングや職業観にとらわれない自由な選択（新しい働き方、雇用形態、副業、起業等）
- ・コロナ影響による職業の変化と、変化への対応
- ・負の側面を知る（貧困や離職等という側面）
- ・負の側面からの脱却 と モチベーションの重要性
- ・危機感や不安を拭うために
- ・計画的偶発性（Planned Happenstance Theory）@心理学者のジョン・D・クランボルツ教授理論・・・偶然の要素も大いに影響が有り得るということ 人生を楽しんでいる中で、「天職」に偶発的に巡り合う等